



安城市議会議員 石川つばさ通信 号外

市政レポート

勤労福祉会館廃止問題③

修繕費は本当に高額なのか!?



勤労福祉会館の存廃問題・第三弾。今回は廃止理由の一つ、「平成 37 年度までに 4000 万円余と多額の維持管理費が必要。」という点について指摘します。

実際のところ、公開行政レビューで「廃止」判定が下された最大の要因はこの金額であると言えます。確かに **4000 万円**を安いという人はいませんが、日常生活とかけ離れた数字故に、比較対象が無ければその金額を正しく評価することは難しいと思いますので、同じ条件のもと比較してみたいと思います。

右記の通り、比較的規模の近い地区公民館と比較しても修繕費が飛び抜けているわけではありません。勤労福祉会館の利用率が公民館よりも高いことを加味すれば尚更です。

さらに、代替施設になり得るとされるアン

平成 37 年度までに必要な維持管理費

桜井公民館	1 億 3400 万円
作野公民館	1 億 1600 万円
東部公民館	8400 万円

(安城市公共建築物保全計画より)

フォーレは貸館部分を有する情報拠点施設購入費が **44 億円余**、勤労福祉会館より 2 年古い文化センターは来年度より **25 億円**かけて改修することとなっています。

こうした視点に立てば、ことさら勤労福祉会館の改修費を強調することは客観性に欠けると言わざるをえません。仮に、修繕費を掛けたくないのであれば建物を解体する他ありませんが、それならそれで、解体費用がいくらかかるのかも併せて俎上に載せるべきだったのではないのでしょうか? その説明がなければ、4000 万円が丸々浮くと錯覚する評価員が居たとしても不思議はありません。3 週にわたりお伝えしましたが、この問題は「済んだ事」とは思っていないです。継続的に取り組んでまいります。

石川翼事務所 446-0072 安城市住吉町荒曾根 1-245 アワーズビル 2F 南
電話 0566-98-6932 メール ishikawa2011@aria.ocn.ne.jp

編集：石川つばさを支援する会